

新緑の会 NEWS

Shinryoku

SHINRYOKU NO KAI



Connect, connect, connect.

つなげる、つながる



To the eight people sought by the people of the prefecture

県民に求められる8人へ

問い合わせ先

自由民主党 新緑の会

〒400-8510

甲府市丸の内 1-6-1 山梨県議会内

電話番号 055-223-1805

FAX 055-223-1831

ご挨拶

一年前、『シン・自由民主党新緑の会』は再始動しました。

【新緑】とは、若葉のつややかな緑色。冬枯れしていた木が芽吹き、鮮やかな緑色の葉を茂らせる現象を表します。私たちはその【新緑】のエネルギーを持って政治と向き合い、県民の皆様が生き生きと暮らすことができ、環境をつくるべく日々活動しています。政治は最終的に何を成し遂げたかが問われます。これからも新緑の会は現場主義を貫き、人々の心に寄り添い、結果にこだわる政策集団でありたいと思います。

What should be done now to realize Yamanashi as a place where people can experience affluence?

を実現するために、いま何をすべきか？」

2024年3月、メンバー8人で、**豊かさを実感できる山梨**を実現するために、いま何をすべきか？

を改めて考える時間を設けました。会派として課題を共有し一致結束して取り組みを進めてまいります。



Second term of the SHINRYOKU NO KAI

代表
流石 恭史
さすが やすし
2期 64歳

「便利」な山梨を目指す！
これまでの議員生活を振り返り、やはり一番感じたことは、我々の行動が県民の生活に直結することです。便利さも幸せを実感する一つです。例えば、富士五湖地域と甲府（国中）との移動時間の短縮です。数年前には、リニア中央新幹線が開業し、品川まで20分程度の所要となり、身近になります。これが、人口減少対策の一つになることを願い、また、都留市の実験線をリニア駅として活用することも今後の私の政治活動のテーマの一つに、富士五湖・東部地域の発展に貢献して参ります。



選挙区：南都留郡 所属委員会：教育厚生委員会
政治信条：和して同ぜず

02
副代表
臼井 友基
うすい ゆうき
2期 47歳

故きを温ね、新しきを知る
いま、昭和歌謡が若者に大人気だそうですね。昭和という時代への憧憬、現代とは異なる価値観や文化への興味、現代社会のストレスや不安に対する癒しなどが背景にあると言われています。
中国の論語に『温故知新』という言葉もあるように、やはり人は過去から学ぶことへの関心を持つているのかもしれない。県政に置き換えても、温故知新をモットーに施策展開することが県民の豊かさ実感のために大切です。



選挙区：甲府市 所属委員会：総務委員会 委員長
政治信条：地道に謙虚に丁寧

03
桐原 正仁
きりはら まさひと
2期 52歳

山梨の魅力をも、さらに強く発信していくこと！
山梨の魅力的な地域資源が世に出るように、アンテナを高くし、積極的に情報をキャッチし、公的に発信していくことが大事だと思います。富士山に、桜に五重塔。その気づきは、海外からだったと。
見慣れていて当たり前過ぎて、という景色だったかもしれませんが、海外が反応して、再認識したということでした。
この例のように、山梨にしかないオンリーワンの資源（文化、自然、食、伝統工芸など）を、積極的に発信しデジタルズ・インダストリーを活性化していくことだと思います。
豊富な地域資源を有する山梨県では、有効だと思えます。



選挙区：甲州市 所属委員会：土木森林環境委員会 委員長
政治信条：至誠通天

04
長澤 健
ながさわ けん
2期 57歳

先進的な取り組みで、憧れるまちへ
県議会議員になり2年が経ちました。これまで、知事の掲げる2本の柱「ふるさと強靱化」「開の国」づくりを峡南につなぐため、地域の声を聞き県政に届けてきました。峡南の歴史、伝統、文化、どれも唯一無二のものです。峡南に住む我々が、もっと、ふるさと峡南に誇りと自信をもつことが大切です。道の駅富士川は、BEAMS プロデュースで人を呼ぶ政策を提案します。中部横断道で訪れる方々に峡南の魅力を発信していく取り組みを推進していきます。他の地区に憧れるのをやめて、憧れられるまちづくりを目指します。



選挙区：西八代郡・南巨摩郡 所属委員会：農政産業観光委員会 委員長
政治信条：初心忘るべからず



05

おざわ えいいち
小沢 栄一

1期
60歳

**幅広い情報発信により、
豊かな山梨を実現**

県議会議員就任後約1年が経過し、県民の皆様の生活・教育・福祉の充実、ご要望の実現のために働いてまいりました。そうした中で多くのの方々の方々の笑顔に接するたびに、充実感を得ることが出来ました。今後も「防災・減災力の向上」「切れ目のない子育て支援の拡充」「老老介護・介護離職の抑止」などにも力を傾注してまいります。更に本県を豊かにする「企業誘致」や「県産品の販路拡大」のために情報の収集や発信に努めてまいります。



選挙区：韮崎市 所属委員会：土木森林環境委員会
政治信条：責任・行動

06

いとう たけし
伊藤 毅

1期
50歳

**未来に向けた
ビジョンの具体化と実行！**

山梨県は、誰もが豊かさを実感できる「豊かさ共創社会やまなし」の実現に向けて様々な政策に取り組んでいます。豊かさの感じ方は様々ですが、日々の市民・県民の声を聞き、身近な諸課題を解決へ向け一つ一つ取り組むとともに、20年後30年後の未来のビジョンをしっかりと見据え、より具体化し実行することが必要です。人生100年時代、全世代が笑顔あふれ豊かさを実感できる山梨を目指し、これからも果敢に挑戦し続けます。



選挙区：甲斐市 所属委員会：総務委員会 副委員長
政治信条：市民・県民とともに、明るい未来を創る

07

もちづき だいすけ
望月 大輔

1期
42歳

**広い視野を持ち、
山梨の強みを最大限
引き出す。**

おかげ様で県議会議員の任期を頂戴し、1年が過ぎました。豊かさの実感とは、県民の皆様が持つ、それぞれの価値観の中で、それぞれの目的が実現できることだと考えます。そのためには、地域の「雇用・経済の活性化」や「居場所づくり」、「子ども・子育て支援」など、多くの課題を乗り越えていくことと同時に「観光」や「地場産業」など、山梨県の強みを最大限引き出していくことだと考えます。



選挙区：甲府市 所属委員会：教育厚生委員会 副委員長
政治信条：山梨をつなごう!! ～まちをつなぎ、人をつなぎ、想いをつなぐ。～

08

わたなべ だいき
渡辺 大喜

1期
37歳

**多方面から「豊かさ」に
アプローチすることが大事！**

「豊かさ」の感じ方は性別や世代ごとに異なりますが、介護や医療、子育てや教育、仕事や災害対策など、あらゆる方面から課題にアプローチする必要があります。

山梨県では、介護待機者の解消、医師の確保、25人学級、国際保育、プレコンセプションケア、育児後の女性の就労支援や男性の育休取得の推進など、「豊かさ」実現のために様々な新しい事業に取り組んでいます。今後もこれらの事業が着実に前進するよう努めて参ります。



選挙区：富士吉田市 所属委員会：農政産業観光委員会 副委員長
政治信条：若者が夢と希望をもてる政治

今こそリニアの整備促進を！

「静岡に何のメリットもない」と言われてリニア整備に反対してきた静岡県知事の川勝平太氏が5月上旬に辞職します。

リニア整備は経済活動の活性化と同時に、大規模災害に対するの代替路線という大きな役割を担います。私たち新緑の会は直ちに勉強会を再開し、リニア新幹線の効果や意義を改めて確認しました。

現時点で開業時期は2034年以降が見込まれていますが、(仮称)山梨県駅が来年度早々に着工することをふまえ、本県が早期にメリット(交通利便性、企業誘致、観光振興、人口増など)を享受できるように活動します。



1997年から山梨県都留市においてリニアの技術開発や走行試験が行われています。



最新技術を駆使して難工事である山岳トンネルを初めて貫通させるなど、リニア開通に向けた準備が着々と進んでいます。

リニア駅前の開発は十分に議論を重ねて進めていく必要があります。今後の山梨県の発展を大きく左右します。



即行動！即勉強！

That's action! That's reluctance!

「課題は現場にあり！」

県内課題を解決していくには、

全国の先進事例を学ぶことも大切です。我が会派では12月に福岡県、

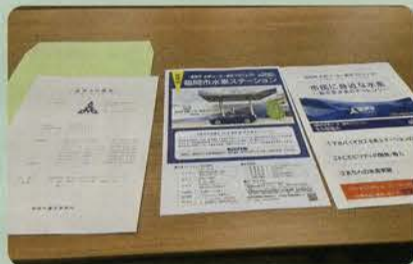
1月には東京都に出向き幅広く情報収集しました。今後のアウトカム生かしてまいります。

2024
1.29

2023
12.20

「水素リーダー都市プロジェクト」

福岡県(福岡市)



福岡県福岡市の取組である「水素リーダープロジェクト」を視察しました。都市型水素のチャレンジとして、市民に身近な下水を利用し下水処理工程に発生する下水バイオガスを有効活用しています。

バイオガスを水素製造装置で処理し圧縮、蓄圧することにより、1日にFCV60台分の水素ガスを作っています。またFCモビリティの開発、導入もトヨタ自動車やCJPTと連携して行っています。水素で走行するバスや給食配送車を開発しており、今後はパッカー車や救急車の開発や市民生活への水素実装に向けて水素パイプラインも整備する予定です。

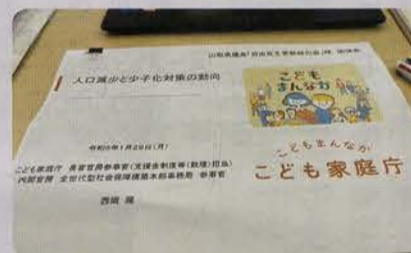
山梨県においてもP2Gシステムによりグリーン水素を製造しています。今回の研修により、本県の水素事業の伸展に役立てていきたいです。

「人口減少と少子化対策の動向」

東京都

山梨県で最も力を入れている「人口減少対策」について学ぶため、こども家庭庁の西岡参事官から動向を伺いました。本県の2050年の人口は約61万人、65歳以上の高齢化率は42%に高まり、超高齢化社会と想定されていますが、出生率の向上や健康寿命を伸ばすことによる自然動態の改善と、転出の抑制やUターンによる社会動態の改善が必要と考えます。

こども未来戦略加速化プランでは、3.6兆円の持続的で構造的な賃上げと、人への投資・民間投資など経済的支援の充実が図られています。子育ての当事者となる若者世代だけではなく、企業も高齢者も一緒になって取り組むことが必要です。こども未来戦略が起爆剤となり本県の少子化の流れが変わっていけるよう取り組んでいきます。



政治をもっと身近に!!

4月から『孤独・孤立対策推進法』が施行されます。社会が変容し他者と必要以上の関係を望まなくなった一方で、孤独や孤立を感じる人が年々増えています。とても重要なことなのに残念ながらあまり大きく取り上げられていません。

県民が政治をもっと身近に感じていただくためにも、我が会派では皆様にとって大切なテーマをしっかりと発信していきます。

山梨県議会
インターネット中継



本会議は、インターネット中継でも見ることができます。

<https://yamanashi-pref.stream.jfit.co.jp>